

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【公開番号】特開 2000-12198 (P2000-12198A)

【公開日】平成 12 年 1 月 14 日 (2000.1.14)

【出願番号】特願 平 10-179026

【国際特許分類第 7 版】

H 0 5 B 3/48

H 0 5 B 3/00

// H 0 1 L 21/205

【F I】

H 0 5 B 3/48

H 0 5 B 3/00 3 1 0 D

H 0 1 L 21/205

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

加熱温度を検出するための温度検出手段として、導電性材料により製作されたシースと、該シースの内部にシースと電氣的に非接触な状態で挿入された熱電対と、前記シースと前記熱電対の間隙に充填された絶縁物と、前記シースの端部開口を封止する絶縁材料製の封口材とを備え、前記熱電対の末端が前記封口材を貫通して前記シースの外部に引き出されたシース熱電対を有する加熱装置において、前記シース熱電対が、前記シースの端部開口に絶縁体からなる筒状の碍子を嵌合し、該碍子の開口に前記封口材を装填し、前記絶縁物の端面が前記シースの内面と前記絶縁物の接触部よりも外側に位置するように構成されていることを特徴とする加熱装置。

【請求項 2】

前記シースの外部へ引き出された前記熱電対の末端がシールド導体で包囲されていることを特徴とする請求項 1 記載の加熱装置。

【請求項 3】

前記熱電対の末端に補償導線を接続し、該補償導線が前記封口材を貫通し、前記シースの外部に引き出されていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の加熱装置。

【請求項 4】

加熱手段として、導電性材料により製作されたシースと、該シースの内部にシースと電氣的に非接触な状態で挿入された導体制の発熱体と、前記シースと前記発熱体の間隙に充填された絶縁物と、前記シースの端部開口を封止する絶縁材料製の封口材とを備え、前記発熱体の端子が前記封口材を貫通して前記シースの外部に引き出されたシースヒータを有する加熱装置において、前記シースヒータが、前記シースの端部開口に絶縁体からなる筒状の碍子を嵌合し、該碍子の開口に前記封口材を充填し、前記絶縁物の端面が前記シースの内面と前記絶縁物の接触部よりも外側に位置するように構成されていることを特徴とする加熱装置。